清心　ご供養の「心」をつなぐお手伝い

今どきのお墓のデザイン

お墓にはいくつかのデザインがあることをご存知でしょうか。墓石のデザインには和型・洋型がありますが、近年では墓石自体の形が個性的なデザイン型も見受けられます。

和型墓石

和型墓石は、日本で最も馴染み深い墓石のデザインです。和型墓石は本来、仏舎利塔や五輪塔を模したものが始まりでしたが、江戸時代に現在の和型墓石のデザインが定着しました。主に上から「棹石」、「上台」、「中台」、「芝台」で構成されますがひとつひとつに意味があり、棹石は長寿、上台は財産や金運、中台は子宝の意味を持つとされています。洗練された格式高い雰囲気があるため、現在でも多くの方に選ばれています。

洋型墓石

洋型墓石はやや横長の長方形で、和型墓石と比較して高さが低いことが特徴です。最近では洋型墓石を選ぶ方が増加傾向にあり、日本全国で見かけることも多くなりました。高さが低いことから和型に比べ石材量が少なく価格が抑えられること、墓石に刻む文字の自由度の高さが人気のポイントです。彫刻にはお墓を彩るという役割もあり、洋型墓石でよく見受けられています。

デザイン型墓石

デザイン型墓石は、和型・洋型のどちらにも分類されない個性的なデザインが特徴です。思い出の品や自分の趣味などを形にしたいという方に人気の墓石です。実際に、将棋が好きだった故人を偲ぶ将棋盤の形をした墓石や、音楽が好きだった故人のために楽器の形をした墓石もあります。
欧米の墓地では数多く目にしますが、最近では日本でも注目を集めています。

彫刻のデザインについて

墓石のデザインに応じて文字彫刻のデザインも変わってきます。和型の場合は文字の彫刻面が縦に細長いため、「○○家之墓」などの家名やご真言を書くのが一般的です。また、洋型やデザイン型の場合は文字彫刻面が横長であるため、「希望」「ありがとう」といった言葉や好きな詩の一節が施されることもあります。

株式会社 清心　千葉県松戸市馬橋1790　Copyright © 清心 All Rights Reserved.